

正負の数の加法減法導入

名前

/13 点

1 次の()に適切な数、語句を書きなさい。

- ① たし算のことを()、ひき算のことを()という。
- ② かけ算のことを()、わり算のことを()という。
- ③ たし算の答えを()、ひき算の答えを()という。
- ④ かけ算の答えを()、わり算の答えを()という。
- ⑤ 2つの数 \circ と \times について $\circ + \times = \times + \circ$ が成り立つことを加法の()という。
- ⑥ 3つの数、 \circ 、 \times 、 \triangle について $(\circ + \times) + \triangle = \circ + (\times + \triangle)$ が成り立つことを加法の()という。

2 次の問いに答えなさい。

- ① -5 より 2 大きい数を求めなさい。
- ② -3 より 10 大きい数を求めなさい。
- ③ 2 より 5 小さい数を求めなさい。
- ④ -7 より 7 小さい数を求めなさい。
- ⑤ -6 より 3 小さい数を求めなさい。

3 次の()に適切な数、語句を書きなさい。

- ① 同符号の2つの数の和は()の和に共通の符号をつける。
- ② 正の数、負の数を引くことは、その数の()を変えて加えることと同じである。

解答

- 1 次の()に適切な数、語句を書きなさい。
- ① たし算のことを(**加法**)、ひき算のことを(**減法**)という。
 - ② かけ算のことを(**乗法**)、わり算のことを(**除法**)という。
 - ③ たし算の答えを(**和**)、ひき算の答えを(**差**)という。
 - ④ かけ算の答えを(**積**)、わり算の答えを(**商**)という。
 - ⑤ 2つの数 \circ と \times について $\circ + \times = \times + \circ$ が成り立つことを加法の(**交換法則**)という。
 - ⑥ 3つの数、 \circ, \times, \triangle について $(\circ + \times) + \triangle = \circ + (\times + \triangle)$ が成り立つことを加法の(**結合法則**)という。
- 2 次の問いに答えなさい。 * 数直線を使って考えてみましょう
- ① -5 より 2 大きい数を求めなさい。 **-3**
 - ② -3 より 10 大きい数を求めなさい。 **7**
 - ③ 2 より 5 小さい数を求めなさい。 **-3**
 - ④ -7 より 7 小さい数を求めなさい。 **-14**
 - ⑤ -6 より 3 小さい数を求めなさい。 **-9**
- 3 次の()に適切な数、語句を書きなさい。
- ① 同符号の2つの数の和は(**絶対値**)の和に共通の符号をつける。
 - ② 正の数、負の数を引くことは、その数の(**符号**)を変えて加えることと同じである。